

授業概要

この授業では、冊子体のレファレンスツールを使った探索方法を体系的に習得し、情報や文献探索能力を身に付けることを目的とする。そのため、レファレンスツールについて基本的な知識を学び、具体的なツールを使った演習を行っていく。

演習では、割り当てられた模擬質問に対して各自調査を行い、調査結果について簡潔にまとめ、発表を行うものである。

授業計画

第1回	レファレンスサービスの概要
第2回	レファレンスブックについて
第3回	言語・事象に関する情報の探索
第4回	発表
第5回	歴史・日時に関する情報の探索
第6回	発表
第7回	地理・地名に関する情報の探索
第8回	発表
第9回	人物・団体に関する情報の探索
第10回	発表
第11回	図書・叢書に関する除法の探索
第12回	発表
第13回	新聞・雑誌に関する情報の探索
第14回	発表
第15回	レファレンスインタビューの技法と実際
第16回	発表

到達目標

様々なレファレンスツールについての知識を深め、それらを使った情報探索及び回答ができるようになることを目標とする。

履修上の注意

「情報サービス概説」を履修済みであることが望ましい。

授業時間外での作業を要する。

遅刻は授業開始 30 分までとし、それ以降は欠席と見做す。

秋期開講 田中岳文先生「情報サービス演習」と合わせて単位を認定します。

予習復習

担当問題の実施をもって、授業の復習とする。

評価方法

担当問題の課題提出、平常点により総合的に評価する。

テキスト

『レファレンスブック選びかた・使いかた』日本図書館協会 2013 月 1 月 長沢雅男・石黒祐子共著

※テキストを使用しながらの授業となるため、履修者は必ず購入しておくこと。

授業概要

図書館の情報サービスにおける、情報検索の概要、情報検索に必要な機器、情報検索の手法、情報検索対象となる情報資源についての理解を目指して指導します。

おおむねテキストに沿って進行します。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	データベースと情報検索 1.データベース
第3回	データベースと情報検索 2.検索戦略、検索語
第4回	データベースと情報戦略 3.評価、再現率と精度、ノイズとモレ
第5回	演習 人物略歴 1.データベースの構造と検索戦略
第6回	演習 人物略歴 2.演習と回答例
第7回	演習 雑誌記事 1.データベースの構造と検索戦略
第8回	演習 雑誌記事 2.演習と回答例
第9回	演習 図書内容 1 データベースの構造と検索戦略
第10回	演習 図書内容 2.演習と回答例
第11回	演習 新聞記事 1.データベースの構造と検索戦略
第12回	演習 新聞記事 2.演習と回答例
第13回	演習 ネットワーク上の情報資源 1.WWW を対象とした検索エンジン
第14回	演習 ネットワーク上の情報資源 2.図書館等から提供されている情報資源
第15回	演習 ネットワーク上の情報資源 3.データベースの評価と信頼の実際
第16回	筆記試験

到達目標

図書館員の職務につくことを前提に、次のことの実践的な理解を目指します。

1)データベースの基本的な構造と種類、2)情報検索の基本的な技法、3)ネットワーク等を通じて公開されているデータベースの実例。

履修上の注意

情報サービス論(情報サービス概説)の内容を踏まえた演習となるため、そちらを先に履修していることが望まれます。

授業中の発言を歓迎します。質問や話題提供など、積極的な参加を期待します。

春期開講 川瀬康子先生「情報サービス演習」と合わせて単位を認定します。

予習復習

毎回の授業でだされるアサインメントを次回までにそれに取り組んでおいてください。また、時間中に終わらなかった演習課題は次回までに終わってください。

授業中に出た新しい用語について、自分の言葉で説明できるようになるまで確認してください。

評価方法

期末テスト(50 点満点・必須)と演習課題(5 件を予定・50 点満点・必須)を主とします。それに授業への参加状況(アサインメントへの取り組み、積極的な質問など・最高 15 点)、任意のレポート(1 件につき最高 15 点)を加え、合計 51 点以上を合格とします。100 点をこえた場合は 100 点として取り扱います。

全回出席を原則とします。

テキスト

田中功ほか編著. CD-ROMで学ぶ情報検索の演習. 新訂4版, 日外アソシエーツ, 2013, 87p., ISBN978-4-8169-2393-7.

このほか参考とすべき資料を講義中に紹介します。また、必要に応じて資料を配布します。